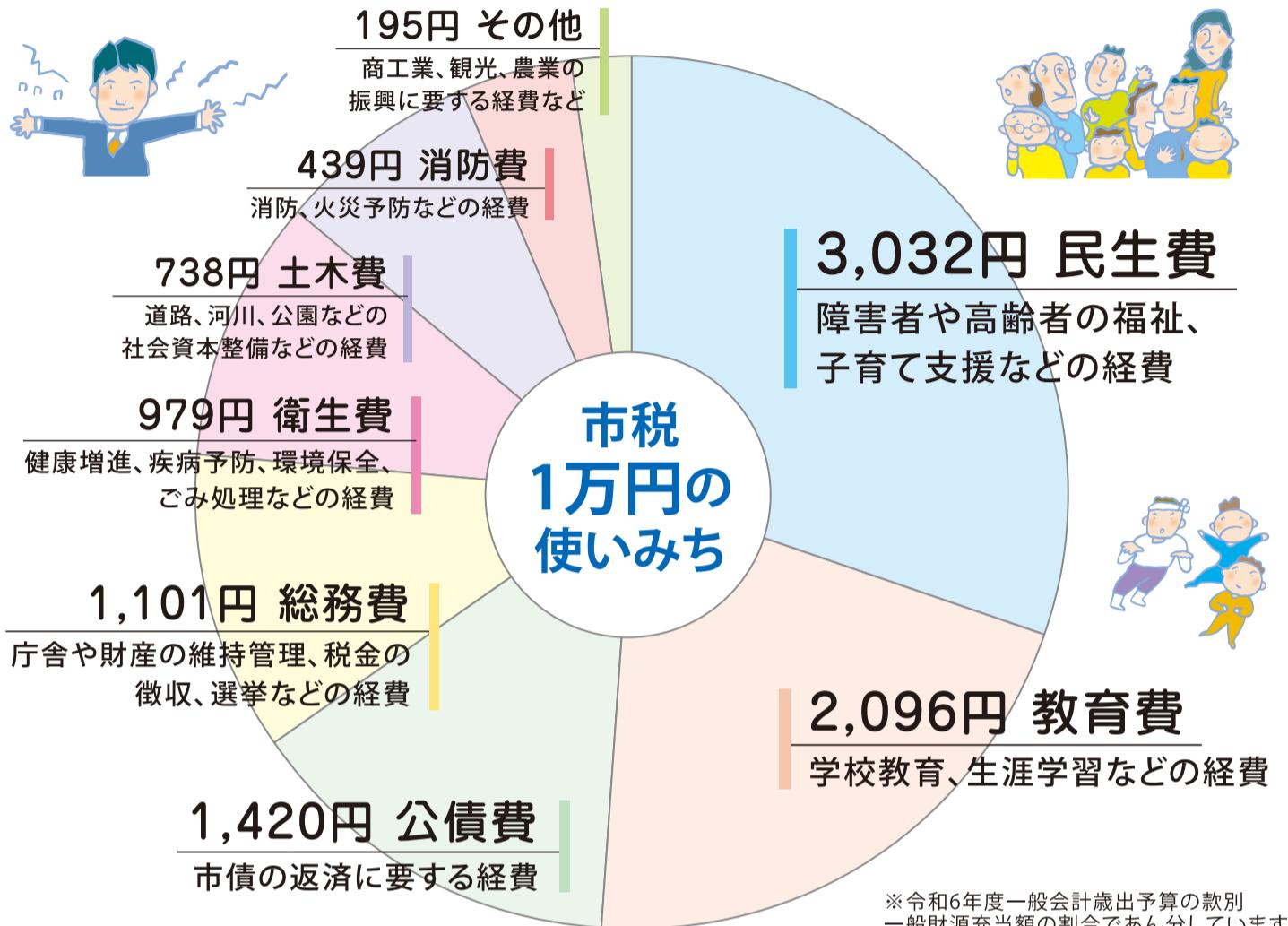


新時代へのシンカに取り組む

令和6年度当初予算1兆1816億円



人口134万人の大都市・さいたま市が、次のステージへ飛躍し、選ばれる都市であり続けるために、新時代へのシンカに取り組む予算です。



認知症と共に歩もう 情報発信拠点開設 認知症フレンドリーまちづくりセンター

さいたま市は、認知症施策の拠点施設「さいたま市認知症フレンドリーまちづくりセンター」を開設しました。併せて、アルツハイマー型認知症と診断されたご本人を「認知症希望大使」に任命したところです。政令指定都市では初めてです。

希望大使にはセンターの運営に参画していただきます。普及啓発活動や認知症サポーター養成講座などで自身の体験や考えなどを伝える活動を通じ、多くの人に認知症への関心と理解を深めてもらう役割を担っていただく予定です。

同センターは、認知症の知識や地域活動情報をウェブサイトなどで発信するほか、認知症の支援をする企業や団体のための相談窓口を開設していきます。

さいたま市中央区本町東4丁目7番20号
与野本町デイサービスセンター内
平日9:30~16:00 電話:048-816-4711



認知症施策の取組「さいたま市チームオレンジ」ロゴマーク



市民一人ひとりがしあわせを実感できるまち

日本一地域の絆で結ばれたまち

選ばれる都市へ さいたま市の“すごい”

住み続けたい
過去最高 **87.2%**

令和6年度さいたま市民意識調査の結果。さいたま市は「住み続けたい」と思う人の割合が87.2%で、過去最高になりました。市民のみなさんからの評価が高まっています。

住みやすい
高い水準 **86.4%**

令和6年度さいたま市民意識調査の結果。さいたま市は「住みやすい」と思う人の割合が86.4%でした。市長就任時(平成21年)と比較して10ポイント以上上昇しました。

SDGs先進度
2回連続 **全国1位**

日本経済新聞社の「全国市区SDGs先進度調査」(日経グローカル誌令和5年1月2日掲載)で、さいたま市が首位になりました。これは、全国792市と東京23区を調査したものです。

自治体DX推進度
ランキング2023 **全国1位**

総務省が行った全国の自治体DX推進度調査を時事総合研究所が独自にランキング。「さいたまデジタル八策」を掲げ、人材育成などに取り組んできたことが評価されました。

0~14歳の転入超過数
9年連続で **全国1位**

総務省がまとめた「住民基本台帳人口移動報告(2023年結果)」によると、さいたま市は国内の大都市を抑えて9年連続で全国1位。子育て世代に選ばれていることが分かります。

待機児童数
3年連続 **ゼロ**

令和6年4月1日現在、保育所等利用待機児童数は3年連続でゼロを達成しました。平成30年以降、172施設、定員にして約1万人分の施設整備を進め、認可保育施設は513施設です。

中学生英語力
5回連続 **全国1位**

文部科学省が5月に公開した令和5年度英語教育実施状況調査の結果。さいたま市は中3で、英語検定3級相当以上の割合が全国平均を38.4ポイント上回り88.4%。全国1位でした。

全国学力調査 中3学力
3年連続 **指定都市1位**

文部科学省が行った「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果によると、さいたま市の中3年生の正答率は、全国20政令指定都市のトップでした。これは3年連続です。



編集・発行／**勇政会** (清水はやと後援会) 〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮7-70-3-1F

TEL.048-686-9940 FAX.048-686-9941

[清水はやと ホームページ] www.shimizu-hayato.jp

LINE
公式アカウント

